

令和7年度発達障害児者地域生活支援モデル事業 事業報告書  
「強度行動障がいのある方の相談支援事業所利用についての実態調査」

2026.2.28

社会福祉法人はるにれの里 札幌市自閉症・発達障害支援センターおがる

(1) 目的

目的

今後の強度行動障がいのある方やご家族等へのサポートを検討するために下記の項目について情報を収集し、強度行動障がいのある方やご家族、関係機関への支援に還元すること

(2) 方法

調査方法

郵送調査にて実施

主な調査項目

- ・セルフプランで相談支援事業所を利用する行動関連項目10点以上の成人の実人数
- ・計画相談で相談支援事業所を利用する行動関連項目10点以上の成人の実人数
- ・セルフプランで相談支援事業所を利用する強度行動障害判定表20点以上の児童の実人数
- ・計画相談で相談支援事業所を利用する強度行動障害判定表20点以上の児童の実人数

対象事業所

市内の相談支援事業所203機関（2025年7月時点で登録のある全区の相談支援事業所が対象）

調査対象児者

2025年7月時点の相談支援事業所の全登録児者

調査時期

2025年7月30日～9月17日

調査用紙

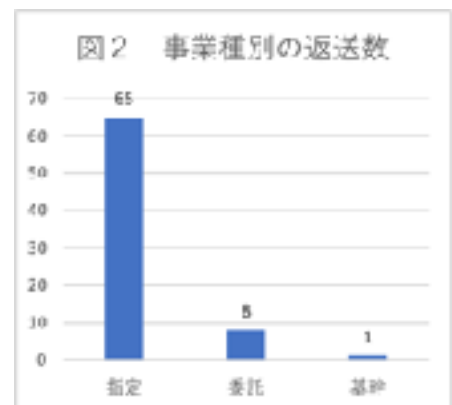
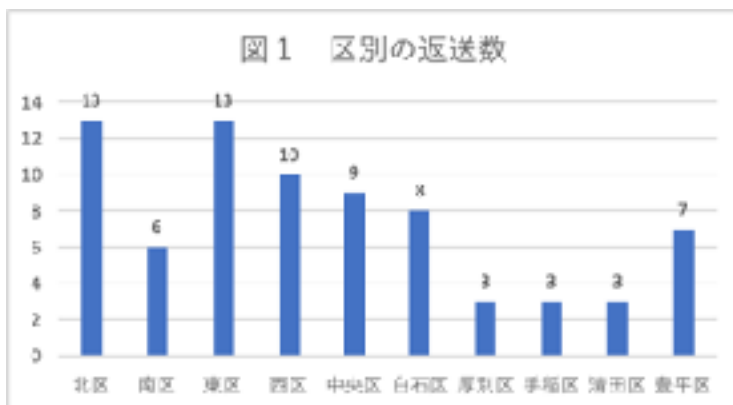
別紙1を参照

(3) 回答状況

回答数

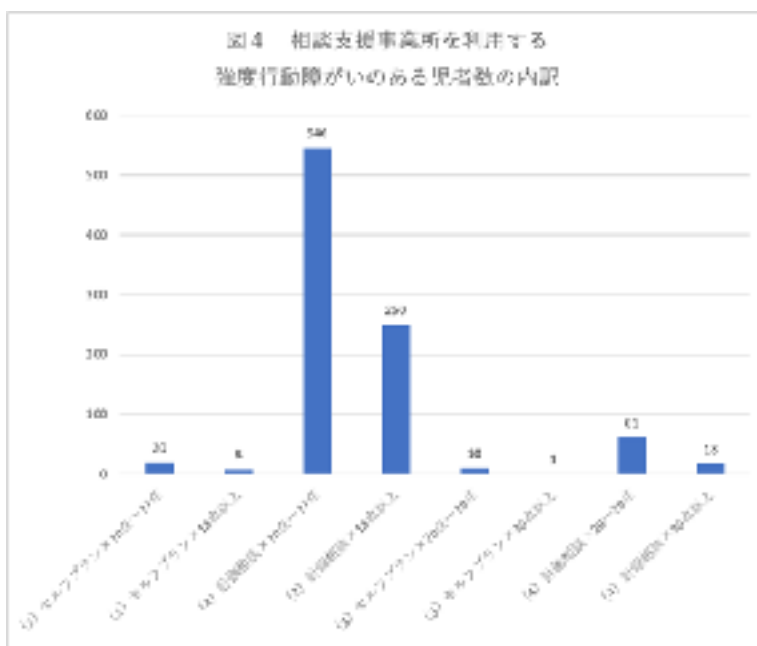
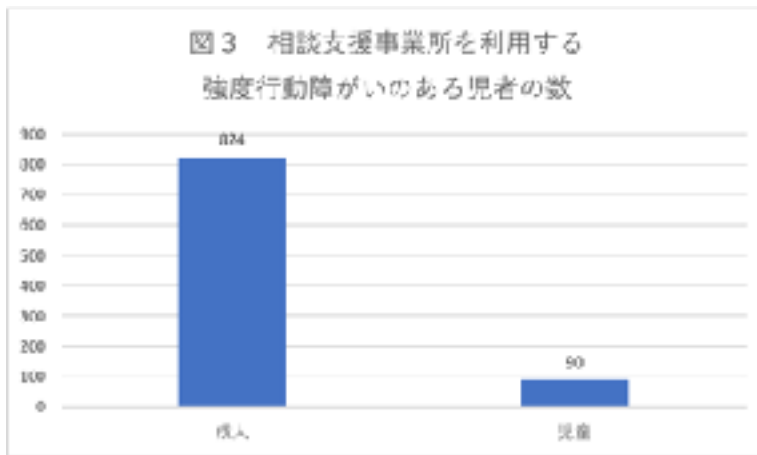
75通（回答率37%）

区別・事業種別の回答数（図1・図2参照）



(4) 強度行動障がいのある方のサービス利用についての実態

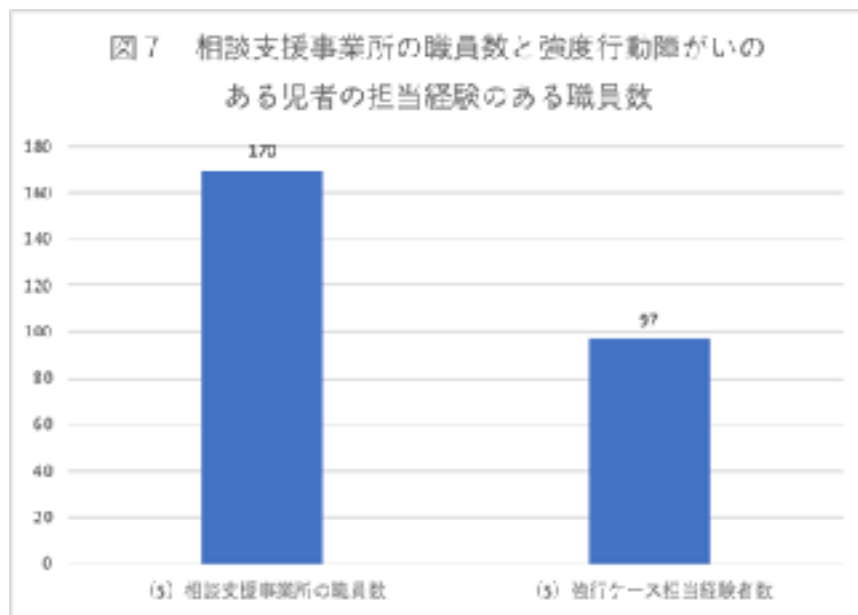
① 相談支援事業所を利用する強度行動障がいのある児者数と内訳 (図3・図4参照)



② 児者別のセルフプランと計画相談の割合 (図5・図6参照)



③現在の相談支援事業所の相談支援業務にて強度行動障がいのある（※主観でよい強度行動障がいと思われる方含む）児者に主担当として関与した経験のある職員数（図7参照）



(5) 札幌市内でサービス支給決定者のうち行動関連項目（強度行動障がい判定基準表）得点のある児者の実人数（2025年9月時点：札幌市給付係より提供）（表1参照）

	得点	表1 サービス支給決定者のうち行動関連項目/強度行動障がい基準表の得点のある児者の実人数	本調査との比較
成人	10点～17点	2413人	566人
	18点以上	1034人	258人
	合計	3447人	824人
児童	20点～29点	94人	71人
	30点以上	49人	19人
	合計	143人	90人
児者の総計		3590人	914人

#### (6) 結果と考察

本調査により、札幌市が支給決定を行い行動関連項目に得点を有する成人のうち、約2割が相談支援事業所を利用していることが明らかとなった。また、強度行動障がい判定基準表に得点のある児童では、約6割が相談支援事業所を利用していた。セルフプランにより相談支援事業所を利用している成人の割合は3%にとどまった一方、児童では17%であった。さらに、相談支援事業所に所属し相談支援業務に従事する職員のうち、約半数が強度行動障がい事例を主として担当した経験を有していることが示された。

これらの結果から、札幌市内において少なくとも914名の強度行動障がいを有する児者が相談支援事業所を利用している実態が確認された。今後、札幌市において集中的支援の実装が予定されていることを踏まえると、相談支援事業所との連携体制の強化が必要である。また、市による支給決定児者数の把握を継続し、集中的支援対象児者数の増減を定期的に確認する体制の構築が求められる。